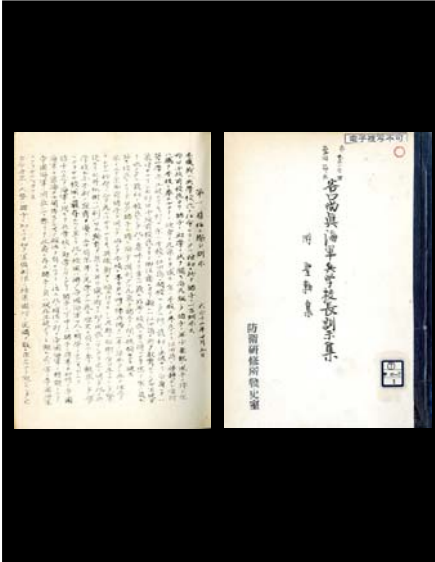


平成 25 年度は、各都道府県出身の陸海軍将官の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物などに関連する史料を紹介しています。

《 ^{たにぐち} ^{なおみ} 谷口 尚眞 1870～1941年 》
— 広島県出身の海軍大将 —



谷口尚眞海軍兵学校長訓示集（登録番号：⑦教育-学校-02-01）

谷口尚眞大将は、明治 25 年 7 月、海軍兵学校（19 期）を卒業後、海軍省人事局長、第 1 艦隊司令長官兼連合艦隊司令長官、軍令部長などの要職を歴任しました。この史料は、谷口中将が第 29 代海軍兵学校長として勤務したときの「訓示集」（大正 12 年 4 月～同 14 年 9 月）です。このうち大正 12 年 4 月 5 日の着任の訓示では、「余ハ（中略）江田島ニ於テ教育セラレタル生徒ヨリ出テタル最初ノ校長」であり、「日夕諸子ニ接シ而シテ澆刺タル元氣ヲ諸子ノ間ニ扶植セント欲ス」と、所懐の一端を述べています。海軍兵学校が、東京築地から江田島に移転したのは明治 21 年であり、谷口中将が着任した大正 12 年には、教育制度が改正され、学生の入校並びに進級が 4 月に改められました。この制度は、同年入校の 54 期生から 69 期生（昭和 13 年）まで続きました。



海軍兵学校教育参考館概要（登録番号：海軍省-公文備考-S1-34-3387）

大正 12 年 9 月 1 日の関東大震災で海軍機関学校横須賀校舎が全焼したため、同校生徒科は海軍兵学校内に臨時移設されました。教育は両校別個に行われ、分隊生活も兵学校は第 1 生徒館、機関学校は第 2 生徒館を使用し、相互不干渉が厳守されました。大正 14 年 3 月、機関学校の舞鶴移設によって、同校が使用していた第 2 生徒館が空き室となったことから、当時海軍兵学校長であった谷口中将は、海軍大臣の承認を得て、ここに従来収集した戦役その他の記録や記念品などを陳列して、教育参考館を設立しました。「海軍兵学校教育参考館概要」と記されたこの史料には、「身ヲ以テ国ニ殉シタル忠魂義膽ニ私淑シ或ハ先輩ノ努力苦心ノ跡ヲ偲ヒ以テ我伝統精神ヲ發揮セシムルハ後進生徒学生ノ教育上極メテ重要ノコトナリ」と、教育参考館設立の趣旨などが記されています。

《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「閲覧が一時不能となる史料」をご覧ください。

※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断転載・複製はお断りします。
防衛研究所企画部企画調整課
専用線：8-67-6522、6588（史料紹介コーナーのみ6668）
外線：03-3713-5912
FAX：03-3713-6149 ※ 防衛研究所ウェブサイト：<http://www.nids.go.jp>